

福井県農村振興技術連盟

特 集

創立50周年記念行事について

福井県農村振興技術連盟は、農業土木技術の向上により、本県の農業農村の振興を図ることを目的として、昭和49年に創設され、このたび、50周年の節目を迎えました。

昨今は、社会の仕組みや我々を取り巻く情勢が刻々と変わっており、求められる要請は多様化しています。また、全国各地で豪雨・地震等の自然災害が激甚化、頻発化しています。

これまでの50年を築き上げてこられた諸先輩方の思いを引き継ぎ、新しいふくいの農業農村整備に向かって、改めて我々が果たしうる役割を考える機会として、令和5年11月4日にザ・グランユアーズフクイにおいて、盛大に記念行事が開催されました。

1 創立50周年記念式典

記念式典は、砂村実行委員長の式辞にはじまり、杉本知事（児玉農林水産部長代読）、細井北陸農政局農村振興部長、林田前全国農村振興技術連盟委員長から祝辞をいただきました。

杉本知事は、当連盟が農業農村の振興にかかる技術の向上、知識の共有、次世代への継承により、本県の高い農業生産および農村環境



福井県知事 あいさつ
（児玉農林水産部長代読）

基盤の実現に取り組んできたことへの感謝を述べられました。また、そば、いちほまれや地酒など福井の食のトップブランド化、担い手となる人材の育成、スマート農業や大規模化による農家所得の最大化などの政策を推進するうえで重要となる農業農村整備事業への期待を述べられました。

細井北陸農政局農村振興部長は、福井県の高い水田整備率、九頭竜川パイプラインをはじめとする農業水利施設など、これまでの当連盟の活動への敬意と、将来を担う若い技術者たちへの期待を述べられました。

また、北陸農政局としても、福井県の農業農村が次の世代へ着実に引き継がれるよう、農業農村整備事業を推進していくとの考えを述べられました。



細井北陸農政局農村振興部長 あいさつ

林田前全国農村振興技術連盟委員長は、圃場整備事業にかかる制度創設などにより全国トップレベルの整備率を誇る福井県の取組みへの敬意、



林田前全国農村振興技術連盟委員長
あいさつ

福井県の農業農村整備事業の推進と地域の持続的な発展への期待を述べられました。

当日は大変お忙しい中、児玉県農林水産部長、湯浅元県農林水産部技監、太田元県農林水産部技監、中田元農林水産部農村振興課長、戸嶋美浜町長にご臨席いただきました。

【記念講演】

福井県土地改良史 森本様のご講演は、厳しさを増す県内、国内外の農業情勢のもと、我々技術者の役割や目指すべき方向性をお示し頂けた大変貴重なご講演で、大変、意義深いものでした。



福井県土地改良史（平成版）
編集委員長 森本 盛雄 様

児玉家の人々教育論
編、跡取り息子 はや
おき亭貞九郎様には、
自身の家族や、土地
改良事業を話題に創
作落語を披露してい
ただきました。前の
めりになって聞き入っ



落語家 はやおき亭貞九郎 様

ていると、急に笑いを放り込んでくる独特の落語のリズムがとても可笑しく大変楽しい時間でした。

記念式典は、野坂副実行委員長のあいさつで閉会となりました。

【パネル展、管内紹介、記念誌コーナー】

記念式典会場では、当連盟の歩み・過去の会誌、映像やパネルによる各事務所・県土地改良事業団体連合会の紹介、「ふくいの農ある風景フォトコンテスト」の入賞作品、諸先輩方が作成した虎の巻が展示されました。

出席者の方には、記念式典が始まる前や、休憩時間にご覧いただき、ご歓談いただきました。



パネル展・管内紹介・記念誌コーナー

2 創立50周年祝賀会

記念式典終了後、引き続き祝賀会が開催されました。

オープニングセレモニーとして、県立福井農林高校郷土芸能部による迫力と躍動感あふれる和太鼓演奏で始まり、砂村実行委員長のあいさつで開会しました。



県立福井農林高校郷土芸能部

来賓あいさつとして、山崎福井県土地改良事業団体連合会長、児玉県農林水産部長、戸嶋美浜町長から祝辞をいただき、その後、砂村実行委員



乾杯の様子

長、山崎福井県土地改良団体事業連合会長、児玉県農林水産部長、戸嶋美浜町長、林田前全国農村振興技術連盟委員長、湯浅元県農林水産部技監、坂田北陸農政局農村振興部設計課長、石川県耕会長らによる鏡開きが行われ、湯浅元県農林水産部技監のご発声のもと乾杯、祝賀会が始まりました。

祝賀会には、太田元県農林水産部技監、中田元県農林水産部農村振興課長もご臨席いただき、当時の懐かしい話や、仲間との再会に大変盛り上がりしました。

祝賀会は前田実行副委員長の発声のもと万歳を三唱し閉会となりました。

【おわりに】

当連盟は、昭和49年の創立以来、諸先輩方のご尽力、会員相互の連携と技術力の結集により、全国トップクラスの農業生産基盤を構築するなど、先進的に取り組んできました。

我々を取り巻く情勢が変化する中、農業農村の振興に総合的に関わる我々技術者の果たす役割は、益々大きなものと考えます。引き続き、皆様のご理解ならびにご指導を賜りますようお願いいたします。